



# 西早稲田中だより

新宿区立西早稲田中学校 03(3205)9674

西早稲田中学校長 冠木 健

## 西早稲田から地球に優しい発信

1月の後半から再び分散登校となり、いろいろと思うようにいかない状況となっておりますが、これまで培ってきたノウハウを駆使して教育活動の継続を維持してまいります。保護者の皆様や地域の皆様にはこれまで以上にご負担をかけることになっておりますが、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、本校生徒会は、今年度「ハブラシリサイクルプログラム」に参加し、すでに、2回の回収実践を行ってボランティアの輪を広げております。賛同いただいた生徒・保護者・教職員・地域の方々そのご家族の方々、交流している落合第二中学校の生徒会の皆様から現在400本を超える歯ブラシを回収することができました。一定の数になったら教育支援・地域支援に役立ててまいります。本校は、この取り組みの中で公共の回収拠点の認定を受けました。次回の回収期間は、3月7日～3月11日の予定です。期間外でも平日8:10～10:00であれば、受付で対応いたします。よろしくお願いいたします。

このように、持続可能な、地球に優しい取り組みについては、生徒会活動のみならず、あらゆる教育活動の中で取り上げていきたいと考えています。保護者の皆様や地域の皆様方からもアイデアをお届けいただけると幸いです。

終わりになりますが、1月22日（土）の西早稲田祭（作品展覧会）には、200人を超える保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。昨年はWEB開催でしたので、是非生徒の作品を直に見ていただきたいと開催いたしました。学年ごとの短い時間で申し訳ありませんでしたが、生徒の成長を感じ取っていただけましたでしょうか。以下に生徒の感想と展示会場の一部を掲載いたします。

## 西早稲田祭 作品展

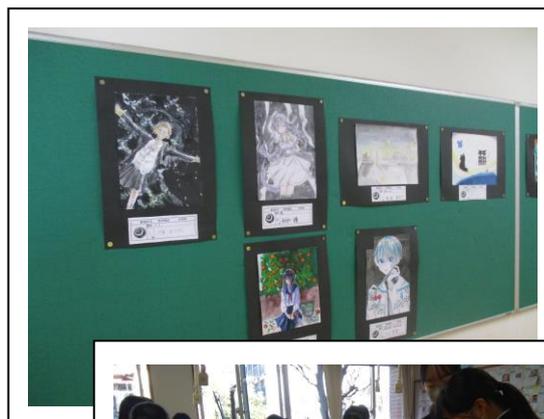
1月22日（土）に西早稲田祭の作品展が行われました。

各学年の見学時間に1階から4階までの教室や廊下に展示されている作品を見学しました。

見学後の鑑賞アンケートには、以下のような感想がありました。

- 時間をたっぷりかけて作ることが必要だと感じました。雑な部分を直したり、雑な部分を作らないためには愛情も必要だと思いました。なぜなら面倒だと思っていると、雑になるからです。
- 直感ですぐ描いたりすると、失敗したり、雑になりがちだし、イメージした作品とは違ってしまいうので、作品のイメージトレーニングが大事。
- 作者がどんな気落ちで作品を作ったのか、どんなところに想いを込めたのか、そんなところを読み解いて作者の気持ちを共有する。そんな心が大事だと思った。
- 意外に上手な人がたくさんいて面白かった。またやってみたいと思った。
- 独自性が必要だと思った。作品展を見て「こういう発想はなかったな」と思うものが多く、とても面白かった。
- よく観察することが大切だと思った。
- 特に3年生の作品が上手くて流石だなと思いました。京都の作品が素敵でした。私も来年、良い作品ができるように頑張りたいです。
- じっくりと見ていくことが大切だと思った。絵のバランスや色合いなど一歩下がって見ることで、別の良いところに気づけた。テーマにあったものであることも大切だと思った。

## 作品展



## 2年校外学習



令和3年11月26日(金)、2学年の校外学習が行われました。事前に調べた見学場所の中から行きたい場所を選び、各班でコースを決めて回りました。晴れ渡り、紅葉の美しい上野公園、国立科学博物館や六義園、浅草寺、東京都美術館、下町風俗資料館、気象科学館など東京の名所や博物館を楽しく見学することができました。

スローガンは「先を見て動こう」。これが修学旅行の班行動につながれると良いですね。